

亜鉛欠乏症とCOVID-19の重症化の関連性

【対象】2020年3月から2021年4月までCOVID-19に罹患し、入院となった患者さん60名を対象としました（津山中央病院での検討）。

【方法】入院時の血清亜鉛値を測定し、**亜鉛欠乏症 (<60 µg/dL)**がある場合に、COVID-19治療開始後に病態がどれくらい悪化するかを解析しました。

【結果】身近で栄養学的にも重要なミネラルである亜鉛が体内で欠乏していると、COVID-19に罹患した際に適切な治療を開始しても**酸素投与が必要な肺炎（中等症Ⅱ以上）に悪化しやすいこと**がわかりました（調整オッズ比は7.29 [95%CI: 1.70-31.18]）。

Zinc status	Case numbers in the oxygen required group / total number (%)	OR (95% CI)	
		Model 1: Crude (n=60)	Model 2* (n=60)
Normal or latent deficiency	10/25 (40.0)	reference	reference
Deficiency (<60 µg/dL)	31/35 (88.6)	11.63 (3.13–43.22)	7.29 (1.70–31.18)

亜鉛が欠乏している状態でCOVID-19に罹患すると、入院が必要な病態（酸素投与が必要な肺炎）に悪化しやすいことが示されました

Fujita K, Ocho K, Kadowaki T, Yorifuji T, Hagiya H and Otsuka F. Zinc deficiency is a potential risk factor for COVID-19 progression to pneumonia requiring oxygen therapy. *J Infect Chemother.* (in press).

